

# 災害への備えを確認しましょう

## 1. 弾道ミサイル落下時の行動

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。しかし、弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾するため、速やかに以下のような行動をとってください。

◎屋外にいる場合 ・近くの建物の中か地下に避難する。

・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せ頭部を守る。

◎屋内にいる場合 ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

\*弾道ミサイル通過後も、破片などが飛散している場合があるので、決して触らず、警察署や消防署、紫波町役場までご連絡ください。

\*その他弾道ミサイルに関する情報は内閣官房「国民保護ポータルサイト」(<http://www.kokuminhogo.go.jp/>)をご覧ください。



## 2. 災害時などの情報入手手段

町は、緊急情報や災害発生時などの情報をさまざまな手段でお伝えしています。

身の危険を感じた際は、注意報・警報にも注意しながら早めの避難行動をとるよう心掛けましょう。

### ①エリアメール

町内の携帯電話に向けて、緊急度の高い避難指示や避難勧告などを一斉メールします。

携帯電話会社により異なりますが、NTTドコモの場合は2007年秋モデル以降は受信対応しています。ただし、機種により受信しないよう設定されている場合もありますので、詳しくは購入した携帯電話ショップに問い合わせください。

### ②テレビ放送(データ放送)

デジタルテレビでのデータ放送(リモコンのdボタンを押して視聴)では、大雨や地震、噴火などが起きた際、紫波橋の水位情報や震度、警報や注意報などの情報を速やかにお伝えしています。また、災害情報や避難所情報なども、データ放送画面で確認することができます。

携帯電話などのワンセグのデータ放送は、インターネットなどの通信に障害が発生したときにも視聴できます。

### ③いわてモバイルメール

「いわてモバイルメール」は、防災・災害・火災などの情報を電子メールで配信するサービスです。

県や市町村が配信するさまざまな情報の中から、欲しい情報だけを選んで、メールで受け取ることができます。メールアドレスがあれば、携帯電話でも、スマートフォンでも、パソコンでもメールを受け取ることができ、メールはデータ容量が小さい「テキスト形式」で送信されるため、携帯電話でも快適にご利用いただけます。

情報料は無料ですが、別途メール受信やホームページ閲覧のための通信料がかかります。

▽いわてモバイルメールとは

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/jouhouka/mobilemail/top.html>



### ④いわて防災情報ポータル(岩手県の防災情報)

警報、注意報、雨量情報などを発信しています。

[https://iwate.secure.force.com/PUB\\_VF\\_TopA](https://iwate.secure.force.com/PUB_VF_TopA)



### ⑤町のホームページ

町のホームページ(<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>)では、町災害対策本部からの避難指示、避難勧告、災害発生状況、道路の通行規制などをお知らせします。

▽町管理の赤沼川および大坪川の水位情報を公開しています。

<http://river.town.shiwa.iwate.jp/>



▽北上川の水位や映像は国土交通省から提供されています。

<http://www2.thr.mlit.go.jp/iwate/bousai/kitakami/>



▽国道、県道の通行規制、路面状況などはこちらで提供されています。

・国道 <http://www.mlit.go.jp/road/roadinfo/>

・県道 <http://www.douro.com/>



### ⑥火災などの災害情報案内(盛岡消防本部)

盛岡消防本部では、火災などの災害発生時にテレフォンサービスを行っています。

自動案内専用電話番号「☎0180-99-1399」(※通話料は有料です)

### ⑦防災広報車

浸水の恐れのある地域では、広報車により避難などの呼びかけを行います。強い降雨時は聞こえにくい場合がありますので、支障のない範囲で窓を開け、外の広報に注意してください。



## 3. 防災マップで避難所などを確認しましょう

町は、防災マップの土砂災害危険箇所の範囲と平成25年8月9日の被害箇所を、平成28年3月に更新しました。

防災マップについては各戸に配布していますが、必要な場合は町民福祉課窓口または消防防災課で配布しています。

防災マップには各地区の避難所や一時的に避難する広域避難場所などが記載されています。各家庭でも防災マップを見ながら、災害時の避難場所について再確認しましょう。